

公益社団法人 湖南省シルバー人材センター

2021年度 事業報告

2021年4月1日 から 2022年3月31日

1. 事業概要

新型コロナウイルスが2019年12月に初めて報告されて以来、3年目となる今もなお感染症は世界的に猛威を振るっています。

日本でも、今年の2月には累計300万人を超える国内人口の約2.4%が、さらに新たな変異株による新型コロナウイルス感染症と診断されました。

このような未曾有の世界的危機に見舞われ、国内でも雇用情勢をはじめ社会経済活動は甚大な影響を受けています。

シルバー人材センター事業としては、2021年度も年度当初から感染症対策を講じながら、状況の変化に応じた取り組みを進めてきましたが、この大きな影響を受けたことは例外ではありませんでした。

このため、重点的な取り組み事項として挙げていた会員の増員や会員を取り巻く環境整備等の推進に関しては、人と人との集まりや外出の制限などからイベントや研修会、講習会の開催中止や縮小に迫られましたが、毎月2回の定期的な入会説明会の継続に加え、市内スーパー6か所での「出張入会案内」、広報誌「シルバーこなん」の刷新と湖南省の広報誌への掲載、コロナウイルス予防接種会場での入会案内誌の配置、新たに会員へのショートメールサービス、WEB入会システムの試行導入等々、積極的に新たな事業展開を試みながら目標の達成に努めました。

また、就業機会の拡大において、派遣事業はコロナ禍の影響により大口受注が複数件数打ち切りになった関係で、全体の契約数が昨年度より減少しましたが、多様な働き方に対応できるよう派遣先企業の開拓に努めました。

受託事業(請負)についてもコロナ禍の影響で実績が著しく低迷しており、対前年度比では一定増加の兆しが見え始めてはいるものの、まだまだ回復したとは言えない状況でした。

安全就業については、2021年度に重篤な事故はありませんでしたが、こうした事故は往々にして気の緩みなどから起こることも多いので、安全・適正就業委員会による「安全就業研修会」の開催や「事務局だより」に「安全就業ニュース」の欄を新たに設け、安全意識の徹底と啓発に努めました。

このように、コロナ禍による非常に厳しい社会情勢のなかで、公益社団法

人としての社会的役割と法令遵守の観点から事業運営に努めてきたことで、契約金額では前年度比▲5.6%の2億900万円、会員数においては3月末現在で12人増の506人という結果となりました。

当センターでは、このような情勢だからこそ役職員が一体となり会員相互の連携を深め、個々の能力を活かした事業運営となるよう引き続き取り組んで参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、事業実績対前年度比の詳細については、下記のとおりです。

項目	2021年度	2020年度	増減	伸び率
正会員数	506人	494人	12人	102.4%
就業実人員	395人	419人	▲24人	94.3%
就業延人員	40,989人日	43,192人日	▲2,203人日	94.9%
契約額	209,352,934円	221,826,355円	▲12,473,421円	94.4%

※ 派遣事業を含む総事業実績

2. 事業実績

(1) 就業に関する情報の収集および提供活動

湖南省やハローワーク甲賀をはじめとする関係機関や民間企業、民間団体ならびに一般のご家庭等から高年齢者の就業に関する情報を収集し、電話による就業紹介、ホームページによる就業情報の提供、就業情報掲示板（シルバーワークプラザ玄関）、毎月発行する「事務局だより」などを通じて、会員に就業情報を提供して事業の拡大に努めました。

また、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という）や公益社団法人滋賀県シルバー人材センター連合会（以下「滋賀県連合会」という）等への参画や他市町のシルバー人材センターとの連携を図りながら情報共有による就業に関する情報を収集し、会員に対して就業情報を提供することで事業の質的向上と量的拡大に努めました。

(2) 就業に関する調査および研究

今年度も、全国的なコロナ禍の影響で全シ協・滋賀県連合会が実施する各種会議や研修会がリモートによる会議になるなど、多くの研修会等も中止となりました。

一方、当センターでは新規入会希望者の拡大確保と入会手続きの利便性を追求した「WEB 入会システム」をホームページに新たに開設し、次年度からの本格稼働に向けた実証実験を行いました。

また、会員以外の方も交えた女性部会による「折り紙教室」を開催し、受講された方（非会員）に新たな会員への勧誘を試みるなど女性会員数の拡大を図りました。

(3) 高齢者に対する就業相談の実施

入会を希望する高齢者を対象にした月 2 回の「入会説明会」や会員を対象とした「就労相談」を実施しました。

また、全会員を対象に毎月発行の「事務局だより」で「就業情報」を提供し、未就業者の解消に努めました。

(4) 就業機会の確保および提供

① 受託事業

コロナ禍の中でも、地域社会に密着した臨時的かつ短期的な仕事を一般家庭や民間事業所、公共団体等から、請負や委任の形式で引き受けるために、会員をはじめ役職員一丸となり事業を推進した結果、本年度における請負・委任契約の事業実績は、契約金額が 109,358,275 円で前年度と比較して 0.7%の増、契約件数 1,252 件、就業実人員 266 人、就業延人員 22,651 人日、年度末における会員数は 506 人（男 326 人、女 180 人）となりました。

② 自主事業と地域就業機会の創出・拡大事業

当センターの自主事業として、長年にわたり取り組まれてきた竹炭づくりの事業は今年度を以って終了しましたが、刃物研ぎ事業と湖南省からの依頼に基づく空き家管理サポート事業については事業を継続しています。

また、介護関連事業については需要がありませんが、引き続き湖南省との連携により取り組みを進めてまいります。

今後も、新たな自主事業の開発に向けて積極的な取り組みに努めます。

③ シルバー派遣事業

滋賀県連合会が実施している「労働者派遣事業」を活用して、高齢者の多様な就業ニーズに応えるため就業形態の選択肢を増やすとともに、法令遵守に基づく事業の適正化を推進しました。その結果、契約金額 99,994,659 円、契約件数 76 件、就業実人員 198 人、就業延人員 18,338 人日となりました。

(5) 安全・適正就業の徹底

安全・適正就業は、センター事業の最優先課題であり会員の事故防止や健康管理に努めなければなりません。このため安全・適正就業委員会を中心に、会員の安全就業（安全講習会等）、健康管理（月1度の卓球教室など）ならびに適正就業の推進に努めましたが、本年度は物損事故2件、傷害事故2件が発生するという結果となりました。

事故の多くは、日頃の慣れからくる過信が要因であることから、今後も安全就業に対する取り組みを強化し、事故ゼロを目標に事故撲滅に努めてまいります。

また、厚生労働省が示している「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」の趣旨に則り、発注者にはシルバー人材センターの働き方を周知し、会員に対しては周知と必要に応じた研修や面談による説明を実施する等、これからも引き続き適正就業の推進に努めます。

(6) 組織の充実と経営及び運営基盤の整備

① 会員の経験および知識・能力を活用した運営

事業の企画・運営及び各種会議等参加（リモート含む）に努めました。

② 理事会等の充実

理事会・専門部会へ適時適切な情報提供を行い、課題意思を共有しながら理事会運営の充実を図りました。

③ 財源の確保

令和5年10月1日から施行される「インボイス制度（適格請求書等保存方式）」は、センターに及ぼす影響が非常に大きいことから、「シルバー人材センターの安定的な事業運営に対する支援に関する意見書の提出を求める請願書」を湖南省議会3月定例会に提出し、市議会を通じて国の関係省庁に対し、制度の適用除外に向けた請願による働きかけを行いました。

また、湖南省や湖南省議会への要望のほか、滋賀県連合会、その他の関係団体との連携により例年と同額の補助金を確保しましたが、保育園の民営化や事業所の業務縮小などにより受注件数が減りました。

④ 事務処理の集中化・適正化の推進

業務における事務処理の効率化と経理事務の効率化・適正化の推進に努めるとともに、公益法人としての社会的な役割と責任を意識し、法令遵守に努めながら適切な事業運営を推進しました。